

総会フラッシュ

管路診断コンサル
タント協会

設立25周年の節目

管路診断コンサル
タント協会(管診協)は先月
28日、東京都千代田区の
霞山会館で2023年度



山崎会長

第14回社員総会(通算第
26回総会)を開催した。
総会では、新たに賛助会
員制度を導入するための
定款変更などを決議した。
総会の冒頭に山崎義広
会長は、「管診協は今期で
設立25周年を迎えた。設
立時は34社でスタートし、
現在は83社となった。こ
の間、下水道管路に関す
る技術発信、技術講習会
や研修会の開催などを通
して、管路調査診断技術
の進化に貢献してきた」と
述べ、今後も引き続き
会員各社の協力を呼び掛
けた。

同協会は今年度、「新中
期ビジョン2020」に
基づき、①会員サービス
の向上②管路診断技術の
進化への貢献③異業種・
産学との連携——を柱に
事業を展開する。技術関
連では、日本下水道新技
術機構との共同研究を引
き続き進めるほか、販売
代理店となっている管診
鏡の新たな活用方法を検
討する。また25周年記念
行事活動に取り組む。